|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 国語科の目標を達成するために、書写に関する事項について、各学年で適切な指導内容が取りあげられているか。  ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられているか。  ○　毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うよう取り扱われているか。 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文字を書く基礎となる事項について  ○　実際の日常生活や学習活動に役立つ各活動の充実について |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |
| ５  創意工夫 | 書写に関する事項について工夫がなされているか。  ○　「筆圧」「穂先の動き」「点画のつながり」の事項について  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」の事項について  ○　「筆順」や「文字の組み立て方」の事項について  ○　「筆記具」と用材の関連について |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 国語科の目標を達成するために、書写に関する事項について、各学年で適切な指導内容が取りあげられているか。  ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられているか。  ○　毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うよう取り扱われているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられている。例えば、１・２年では、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことを、３・４年では、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことを、５・６年では、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことが取りあげられている。  ○　毛筆教材と同じ学習要素をもつ硬筆課題が示され、書き込むことができるようになっている。また、毛筆で学習したことを硬筆に生かして書けるように「生活に広げよう」「学びを生かそう」が設けられている。 |
| 学　図 | ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられている。例えば、１・２年では、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことを、３・４年では、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことを、５・６年では、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことが取りあげられている。  ○　毛筆で学習したことを生かして、同じねらいをもった別の文字を硬筆で練習するようになっている。 |
| 教　出 | ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられている。例えば、１・２年では、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことを、３・４年では、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことを、５・６年では、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことが取りあげられている。  ○　毛筆で学習する教材について、学習のはじめに硬筆による「ためし書き」、終わりに硬筆による「まとめ書き」をするようになっている。また、「生かそう」で同じねらいをもった別の硬筆文字が取りあげられている。 |
| 光　村 | ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられている。例えば、１・２年では、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことを、３・４年では、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことを、５・６年では、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことが取りあげられている。  ○　毛筆で学んだ教材の要素について、硬筆で確かめながら学習する「こう筆のまとめ」が別ページに集約され設けられている。 |
| 日　文 | ○　各学年で適切な指導内容が取りあげられている。例えば、１・２年では、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことを、３・４年では、文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことを、５・６年では、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことが取りあげられている。  ○　毛筆の学習で理解したことを、硬筆の学習で確かめるという学習過程となっている。また、「いかす」で同じねらいをもった別の硬筆文字が取りあげられている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。また、左手で鉛筆を持った写真を掲載したり、教材文字と書き込み欄を上下に配置したりして、利き手に関わらず教材文字が見えやすい配慮をしている。 |
| 学　図 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。また、硬筆の教材文字と書き込み欄については、上下に配置することで、利き手を問わず教材文字が隠れずに練習できるよう配慮されている。 |
| 教　出 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 光　村 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 日　文 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。また、教科書への書き込み欄を手本文字の下に配置し、利き手に関わらず手本を見ながら書けるよう配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文字を書く基礎となる事項について  ○　実際の日常生活や学習活動に役立つ各活動の充実について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　文字を書く基礎となる事項について、発達段階を考慮した内容になっている。例えば、１・２年では、「しょしゃたいそう」で体を動かしながら姿勢に気を付け、筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことが取りあげられている。  ○　「生活に広げよう」では、ノート、はがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。 |
| 学　図 | ○　文字を書く基礎となる事項について、発達段階を考慮した内容になっている。例えば、１・２年では、鉛筆の持ち方が順を追って示されており、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことが取りあげられている。  ○　ノート、はがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。 |
| 教　出 | ○　文字を書く基礎となる事項について、発達段階を考慮した内容になっている。例えば、１・２年では、体を使って学ぶ「しょしゃの体そう」を示し、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことが取りあげられている。  ○　季節の便り、手紙・お礼状の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。 |
| 光　村 | ○　文字を書く基礎となる事項について、発達段階を考慮した内容になっている。例えば、１・２年では、「しょしゃたいそう」「えんぴつのもちかた」がイラストで取りあげられ、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことが取りあげられている。  ○　手紙、原稿用紙やリーフレットの書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。 |
| 日　文 | ○　文字を書く基礎となる事項について、発達段階を考慮した内容になっている。例えば、１・２年では、楽しく定着が図れるよう「しせいの合いことば」が示され、姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことが取りあげられている。  ○　「生活と書写」では、原稿用紙や新聞、ポスターなどの書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　単元構成について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科と関連させた学習活動が活用単元「生活に広げよう」で示されている。  ○　「①見つけよう」で課題発見・把握をし、「②たしかめよう」で「書写のかぎ」をもとに確認し、「③生かそう」で考えて書く活動をし、最後に「ふり返って話そう」で学習を振り返る構成となっている。  ○　毛筆の教材では、見開き左ページには手本が示され、右ページには学習の流れにそってポイントが配置されている。 |
| 学　図 | ○　各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科と関連する教材が、活用単元「書写の資料館」で示されている。  ○　各単元で「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」のねらいを持った学習活動を行い、「ふり返ろう」で学習内容を活用した練習問題を行う構成となっている。  ○　毛筆の教材では、見開き右ページには手本が示され、左ページには学習の流れにそってポイントが配置されている。 |
| 教　出 | ○　各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科と関連する教材が、活用単元「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」で示されている。  ○　全学年で「学習の進め方」が示されている。３年以上では「めあて」「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「ふりかえろう」という構成となっている。  ○　毛筆の題材では、見開き右ページには手本が示され、左ページには学習の手順に沿ってポイントが配置されている。 |
| 光　村 | ○　各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科と関連する内容も示されている。  ○　３年以上の各教材には「学習の進め方」が示されており、「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」という構成となっている。  ○　毛筆の教材では、見開き左ページには手本が示され、右ページには学習の進め方にそってポイントが配置されている。 |
| 日　文 | ○　各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科と関連する内容も示されている。  ○　２年以上では、巻頭に「書写における学年の目標」が明示され、各学年の教材を「①考える（カエル）→②確かめる（カメ）→③いかす（イカ）」の３ステップで構成されている。  ○　毛筆の教材では、見開き左ページには手本が示され、右ページには学習の進め方にそってポイントが配置されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | 書写に関する事項について工夫がなされているか。  ○　「筆圧」「穂先の動き」「点画のつながり」の事項について  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」の事項について  ○　「筆順」や「文字の組み立て方」の事項について  ○　「筆記具」と用材の関連について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　「筆圧」については、筆圧を変えた太さの違う線の写真とイラスト、言葉で説明されている。「穂先の動き」については、児童にとって視覚的に捉えられるよう朱墨と薄墨で示されている。「点画のつながり」については、赤い線で筆の動きを示して、次の点画へのつながりが分かるように示されている。  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」については、例えば、５年で配列のよいポスターの書き方について考える活動が設定され、文字の大きさや用紙の上下・左右の余白、文字を書く位置に気をつけて書くことができるよう工夫されている。  ○　「筆順」については、例えば、１年で筆順のきまりを見つけ、筆順番号を教材に書き込むことができるように工夫されている。「文字の組み立て方」については、例えば、部分ごとに色分けし視覚的にわかりやすくしている。  ○　「筆記具」と用材の関連については、例えば、６年で社会科のノートや保健のポスターなど、異なる「筆記具」を用いて書いた例が紹介されており、書く目的に合った筆記具を選ぶよう考えさせる工夫がされている。また、１・２年の巻末に水書用紙が付けられており、絵筆や水書用筆など先が柔らかい筆記具を使用し、運筆を体感することで、硬筆での適切な書字動作が練習できる。 |
| 学　図 | ○　「筆圧」については、穂先を押さえた形と丸で囲んだ数字の大きさで示されている。「穂先の動き」については、「かご書き」の太い線が穂先の通り道として示されている。また、始筆の「穂先の向き」は三角定規を使って示されている。「点画のつながり」については、筆の動きを示して、次の点画へのつながりが分かるように示されている。  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」については、例えば、５年で教材文字の外形枠を示したり、余白を点線の丸で示したりして視覚的に分かりやすいよう工夫されている。  ○　「筆順」については、例えば、１年で題材の文字には全て「筆順」が示され、正しい筆順を意識して文字を書くことができるように工夫されている。また、硬筆ページの脚注にも「新しい漢字」が掲載されており、筆順が確認できよう示されている。「文字の組み立て方」については、例えば、部分ごとに色分けし、視覚的に分かりやすくしている。  ○　「筆記具」と用材の関連については、例えば、５年で様々な「筆記具」の写真と「筆記具」を用いて書いた文字が掲載され、書く目的に合った筆記具を選ぶように考えさせるよう工夫されている。また、１・２年で「水ふでをつかってみよう」が設定されている。 |
| 教　出 | ○　「筆圧」については、３・４年では、擬音（ちゅん・とっ・とん）を用い、５・６年では、３段階の数字でわかりやすく示されている。「穂先の動き」については、視覚的に理解しやすいように朱墨と薄墨で示されている。「点画のつながり」については、画のつき方と交わり方を色分けし示されている。  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」については、例えば、５年で用紙に対して適切な大きさの丸や四角で文字を囲み、意識しやすいように工夫されている。  ○　「筆順」については、例えば、１年でなぞり書きの場面を多数取り入れ、楽しみながら「筆順」を意識できるよう工夫されている。また、硬筆の学習では「筆順の決まり」を提示し、色分けするなど視覚的に示されている。「文字の組み立て方」については、例えば、漢字の部分ごとに色分けし、視覚的に意識しやすいよう示されている。  ○　「筆記具」と用材の関連については、例えば、５年「委員会のポスター」では、用具の特徴を話し合う活動や、用途に応じた筆記具の選択の例示がされ、目的にあった筆記具を選択・活用し、筆記具と用紙の関連が理解できるよう工夫されている。また、１年の巻末に水書用紙が添付されており、水書用筆など穂先が柔らかい筆で、運筆を楽しみながら力の入れ加減を知ることで、硬筆に生かすことができる。 |
| 光　村 | ○　「筆圧」については、１から３まで筆圧のレベルを数字で示す工夫がされている。「穂先の動き」については、「ほさきちゃん」というマークを用い、濃淡のある朱墨で示され視覚的に分かりやすい工夫がされている。「点画のつながり」については、点線と矢印で示されている。  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」については、例えば、６年で用紙に合った文字の大きさと配列について取り扱い、漢字と漢字・漢字と仮名の文字の大きさと配列に気をつけて書くことについて学べるよう工夫されている。  ○　「筆順」については、例えば、１年で「書き順のきまり」について取りあげている。また、全学年で筆順を間違えやすい文字については筆順が示されている。「文字の組み立て方」については、例えば、矢印や点線、色を効果的に使い、視覚的に分かりやすくしている。  ○　「筆記具」と用材の関連については、例えば、５年で「六年生を送る会」を例にあげ「筆記具の使い分け」について取り扱われるなど工夫されている。また、１年の巻末に水書シートが用意されるとともに、「水ふでで書いてみよう」が設定され、始筆から終筆までの筆使いを繰り返し練習することで、書く力の向上が図れるようになっている。 |
| 日　文 | ○　「筆圧」については、顔のマークの表情で視覚的に示されている。「穂先の動き」については、視覚的に捉えられるように朱墨と薄墨で示されており、「穂先の向き」についても顔のマークを用いて示している。「点画のつながり」については、全学年において点線と矢印で示されている。  ○　「漢字や仮名の大きさ」「配列」については、例えば、５年で文字の大きさと行の中心や、行の中心と字間・行間、文字の大きさと余白に気づくことができるよう工夫されている。  ○　「筆順」については、例えば、１年ですべての教材の文字に「筆順」がつけられている。また、筆順を間違えやすい教材は、筆順と字形との関連を意識できるよう工夫されている。「文字の組み立て方」については、例えば、部分ごとに色分けし、視覚的に分かりやすくしている。  ○　「筆記具」と用材の関連については、例えば、５年で「いろいろな筆記具」や「用具の産地」が紹介され、筆記具の種類や特徴を考えたり、「筆・墨・硯・紙」がどのように作られているかを学んだり、日本独自の物作りの歴史や価値観を知ることで、用具に対する愛情と大切に扱う心を養う工夫がされている。また、１・２年の巻末に水書きシートが貼付されており、水書用筆などとともに「払い・はね」のように表現が難しい筆使いの学習に用いることで、硬筆で適切に運筆する能力の向上につながるようになっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　巻末に「平仮名」「片仮名」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。また、「文字のいずみ」のコーナーでは、全学年にわたり、漢字や仮名の成り立ち、世界の文字、文字に込めた人々の思いなど文字文化と取りあげたコラムが掲載されている。また、３年生以上の書き初め教材では、書き初めの歴史が紹介されている。 |
| 学　図 | ○　巻末に「平仮名」「片仮名」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。また、「なぜ？なに？書写の不思議」のコーナーでは、筆記具の作られる過程（鉛筆、消しゴム、筆、墨、硯、和紙など）や、文字の成り立ち、ひらがな・かたかなの起源などが、写真資料とともに説明されている。 |
| 教　出 | ○　巻末に「平仮名」「片仮名」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。また、巻頭の見開きページ及び「文字の世界」のコーナーでは、漢字の成り立ちや、生活の中にある文字を取りあげ、子どもたちの興味・関心を促すコラムが掲載されている。 |
| 光　村 | ○　巻末に「平仮名」「片仮名」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。また、「もっと知りたい」のコーナーでは、鉛筆、筆、紙、墨、硯ができるまでの過程や手書き文字と活字、文字の歴史を取りあげたコラムが掲載されている。また、６年では、小学校で学習する書写の要素が「書写ブック」にまとめられている。 |
| 日　文 | ○　巻末に「平仮名」「片仮名」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。また、５年「いろいろな筆記具」「用具の産地を訪ねて」、６年「手書き文字と活字」「平仮名と片仮名ができるまで」など、文字文化にまつわるコラムが掲載されている。 |